

平成30年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 サイタホールディングス株式会社
 コード番号 1999 URL <http://saita-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 才田 善之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平山 繁之
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 TEL 0946-22-3875

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	1,276	47.3	82		81		40	
29年6月期第1四半期	866	2.0	31		33		29	

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 36百万円 (%) 29年6月期第1四半期 10百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	6.37	
29年6月期第1四半期	4.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第1四半期	5,346	2,095	39.2	332.35
29年6月期	5,363	2,077	38.7	329.50

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 2,095百万円 29年6月期 2,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		3.00	3.00
30年6月期					
30年6月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年1月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年6月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年6月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円となり、1株当たり年間配当金は3円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	15.1	230	23.3	210	12.2	130	3.7	206.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年6月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」の に記載の株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期1Q	6,610,000 株	29年6月期	6,610,000 株
期末自己株式数	30年6月期1Q	304,836 株	29年6月期	304,730 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期1Q	6,305,164 株	29年6月期1Q	6,305,270 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年9月28日の第62期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年1月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年6月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年6月期の配当予想
1株当たり配当金 第2四半期0円00銭 期末3円00銭
- 平成30年6月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期20円62銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 四半期建設事業受注の概況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用、所得環境が改善する等、全体的に緩やかな回復傾向が続いているものの、米国政権の施策動向や各国の政治情勢の変動、近隣における地政学的リスクの高まり等、景気・経済の先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、災害復旧・復興事業等、一部地域においては公共投資が期待できるものの、資材価格や労務費の高止まり、熾烈な受注競争は依然として続いており、経営環境は不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、碎石製品等の販路拡張にまい進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は12億7千6百万円（前年同四半期比47.3%増）となり、営業利益8千2百万円（前年同四半期は営業損失3千1百万円）、経常利益8千1百万円（前年同四半期は経常損失3千3百万円）となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は4千万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2千9百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節の変動があります。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第1四半期連結累計期間の受注高は8億4千5百万円（前年同四半期比54.7%増）、完成工事高は7億3千3百万円（前年同四半期比114.3%増）、営業利益は6千1百万円（前年同四半期は営業利益0百万円）となりました。

(碎石事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は3億7千7百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は6千1百万円（前年同四半期比310.4%増）となりました。

(酒類事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は6千2百万円（前年同四半期比30.0%増）、営業損失は1千万円（前年同四半期は営業損失1千万円）となりました。

(その他の事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は1億3百万円（前年同四半期比18.2%減）、営業利益は1千1百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は27億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千3百万円減少いたしました。これは主に現金預金が2億2千2百万円減少いたしました。受取手形・完成工事未収入金等が2億8百万円増加したことによるものであります。固定資産は25億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が3百万円減少いたしました。有形固定資産が1千万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、53億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千7百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千2百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が6千8百万円、未払費用が4千1百万円減少いたしました。未成工事受入金が5千1百万円、支払手形・工事未払金等が4千9百万円増加したことによるものであります。固定負債は5億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千2百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1千6百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、32億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千4百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は20億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千7百万円増加いたしました。これは主に配当金1千8百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益4千万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.2%（前連結会計年度末は38.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期決算発表時（平成29年8月18日）に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,618,791	1,395,938
受取手形・完成工事未収入金等	854,785	1,063,577
未成工事支出金等	230,486	220,417
繰延税金資産	56,547	41,729
その他	29,552	44,539
貸倒引当金	△2,898	△2,928
流動資産合計	2,787,263	2,763,273
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	331,661	326,263
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	571,626	557,847
土地	755,770	788,629
リース資産(純額)	22,060	20,008
その他(純額)	26,898	26,068
有形固定資産合計	1,708,017	1,718,817
無形固定資産		
採石権	12,666	12,666
その他	2,663	2,663
無形固定資産合計	15,329	15,329
投資その他の資産		
投資有価証券	278,454	275,955
保険積立金	186,241	187,958
繰延税金資産	22,170	13,829
その他	427,605	432,918
貸倒引当金	△61,330	△61,330
投資その他の資産合計	853,142	849,331
固定資産合計	2,576,489	2,583,479
資産合計	5,363,752	5,346,752

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	601,650	651,009
短期借入金	1,614,215	1,617,209
リース債務	8,823	8,859
未払費用	103,254	61,991
未払法人税等	81,070	12,470
未成工事受入金	136,651	187,756
工事損失引当金	9,400	12,600
賞与引当金	5,080	20,320
その他	186,878	162,087
流動負債合計	2,747,023	2,734,303
固定負債		
長期借入金	346,984	330,707
リース債務	15,350	13,122
繰延税金負債	3,315	3,788
退職給付に係る負債	136,968	132,353
役員退職慰労引当金	31,826	32,306
その他	4,729	4,729
固定負債合計	539,174	517,006
負債合計	3,286,198	3,251,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	594,558	594,558
利益剰余金	597,994	619,236
自己株式	△35,728	△35,784
株主資本合計	2,099,774	2,120,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,026	3,869
為替換算調整勘定	△25,246	△29,388
その他の包括利益累計額合計	△22,219	△25,518
純資産合計	2,077,554	2,095,442
負債純資産合計	5,363,752	5,346,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)
売上高		
完成工事高	342,069	733,182
兼業事業売上高	524,385	543,009
売上高合計	866,455	1,276,191
売上原価		
完成工事原価	321,556	609,686
兼業事業売上原価	401,275	407,771
売上原価合計	722,832	1,017,457
売上総利益		
完成工事総利益	20,512	123,495
兼業事業総利益	123,109	135,238
売上総利益合計	143,622	258,733
販売費及び一般管理費	175,391	176,441
営業利益又は営業損失(△)	△31,769	82,291
営業外収益		
受取利息	122	132
受取配当金	47	47
固定資産賃貸料	999	3,339
為替差益	—	4,442
持分法による投資利益	7,786	—
貸倒引当金戻入額	1,500	—
その他	2,849	2,331
営業外収益合計	13,306	10,294
営業外費用		
支払利息	5,528	5,082
為替差損	6,667	—
持分法による投資損失	—	2,881
その他	2,511	2,793
営業外費用合計	14,708	10,756
経常利益又は経常損失(△)	△33,171	81,829

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	997	359
特別利益合計	997	359
特別損失		
減損損失	—	7,621
投資有価証券評価損	103	—
特別損失合計	103	7,621
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△32,278	74,568
法人税、住民税及び事業税	743	10,743
法人税等調整額	△3,392	23,666
法人税等合計	△2,648	34,409
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,629	40,158
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△29,629	40,158

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,629	40,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,041	843
為替換算調整勘定	5,937	△4,142
その他の包括利益合計	18,979	△3,299
四半期包括利益	△10,650	36,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,650	36,859
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	342,069	350,299	48,007	740,376	126,079	866,455	—	866,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,200	1,984	303	5,487	4,938	10,425	△10,425	—
計	345,269	352,283	48,310	745,863	131,017	876,880	△10,425	866,455
セグメント利益又は損 失 (△)	682	14,977	△10,950	4,709	△608	4,101	△35,870	△31,769

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業及び警備事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額35,870千円には、セグメント間取引消去672千円、各報告セグメントに配分していない全社費用36,542千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	733,182	377,499	62,389	1,173,071	103,120	1,276,191	—	1,276,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,484	41,384	264	43,132	5,802	48,935	△48,935	—
計	734,666	418,883	62,654	1,216,203	108,922	1,325,126	△48,935	1,276,191
セグメント利益又は損 失 (△)	61,078	61,468	△10,316	112,230	11,863	124,093	△41,802	82,291

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額41,802千円には、セグメント間取引消去472千円、各報告セグメントに配分していない全社費用42,274千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、車両運搬具、管理備品及び長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては7,621千円でありま

す。

3. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受注高	
	千円	%
平成30年6月期第1四半期累計期間	826,796	78.2
平成29年6月期第1四半期累計期間	463,944	10.0

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額であります。
 2. パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			平成30年6月期 第1四半期累計期間		平成29年6月期 第1四半期累計期間		比較増減 千円	増減率 %
			千円	%	千円	%		
建設事業	土 木	官公庁	485,783	58.8	352,488	76.0	133,294	37.8
		民 間	332,444	40.2	111,456	24.0	220,987	198.3
		計	818,227	99.0	463,944	100.0	354,282	76.4
	建 設	官公庁	8,524	1.0	—	—	8,524	—
		民 間	45	0.0	—	—	45	—
		計	8,569	1.0	—	—	8,569	—
	合 計	官公庁	494,307	59.8	352,488	76.0	141,819	40.2
		民 間	332,489	40.2	111,456	24.0	221,032	198.3
		計	826,796	100.0	463,944	100.0	362,852	78.2

- (注) パーセント表示は、構成比率であります。